#### Ver15からVer16へのアップ グレード



#### EOL後のVer15の動作について

 今回のバージョンアップでは、パターンファイル更新やセキュリティク ラウドへの接続先が、F-SecureバックエンドからWithSecureバックエン ドへ変更されます。2024年9月30日以降については、f-secure.com ドメ イン下のサービスへのすべてのネットワークアクセスは機能しなくなる ため、パターンファイル更新やクラウド検索が機能しなくなります。

【影響を受ける製品】

Client Security Ver15.x or earlier

Client Security for Mac Ver15.x or earlier

Email & Server Security Ver15.x or earlier

Server Security Ver15.x or earlier

Policy Manager Ver15.x or earlier(Windows and Linux)

Policy Manager Proxy Ver15.x or earlier(Windows and Linux)

Linux Security 64 Versions released before May 16, 2024

※Linux Security 64については、基本的には製品コンポーネントのバージョンは自動更新されるため対応は不要です。新規インストールを行う場合は、 最新のインストーラを利用してください。

 $\mathbf{V}$ 

#### バージョンアップに関する注意事項-1

 Ver16では接続先がF-SecureバックエンドからWithSecureバックエンド へ変更されます。ファイアウォールで接続先ドメインを制御されている 場合は、\*.fsapi.comへのHTTP/HTTPSアクセスが許可されている必要が あります。

https://www.withsecure.com/content/dam/with-secure/ja/supportnews/support-news/2023/20230929-BusinessSuit16.pdf

 Windows OSはMicrosoft Azure Code Signing証明書をサポートすること が必須です。(対象製品: Client Security/Server Security)

<u>https://support.microsoft.com/ja-jp/topic/kb5022661-信頼された署名-旧称-azure-code-signing-プログラムに対する-windows-サポート-4b505a31-</u>fa1e-4ea6-85dd-6630229e8ef4

ポリシーマネージャサーバはRFC1738で許可されていない文字を含むホスト名によるアクセスをサポートしなくなりました。(ポリシーマネージャサーバのホスト名では、アンダースコアは利用できなくなりました。)

https://community.withsecure.com/discussion/125298/business-suite-policy-manager-changelog#latest



#### バージョンアップに関する注意事項-2

- ライセンスキーコードはVer15と異なります。Ver16のライセンス証書を 準備したうえでバージョンアップをしてください。
- Client Security/Server Securityのアップグレードでは、アップグレード 後のOS再起動前提で手順・スケジュールを組む必要があります。
- サポートニュースにもいくつかVer16に関する記事が掲載されておりますのでご参照ください。

https://www.withsecure.com/jp-ja/support/support-news

### 隔離環境での運用に関する注意事項

- 隔離環境用トークンの申請を新たに行う必要はありません。
- 手動更新ツールはPM16に同梱されているツールをご利用ください。
  BS16用withsecure-updates.zipと従来のBS15用f-secure-updates.zipが作成されます。
- PM16配下にBS15、BS16が混在する場合、手動更新ツールで作成した withsecure-updates.zipとf-secure-updates.zipの両方をPM16に適用する ことで、BS15、BS16のパターンファイル更新が可能になります。
- PM16配下が全てBS16にバージョンアップされた後については、 withsecure-updates.zipのみを利用します。

https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/policymanager/16.00/ja/task\_957E20DBBA344DF3A8B1B703EA7A4F1D-16.00ja

Administrator: Command Prompt - fspm-definitions-update-tool.bat	-	
<pre>:Wrogram FileSWithSecureVPolicy Manager-Volicy Manager ServerVoliN</pre>		
:\Users\Administrator>cd Desktop\Update\fspm-definitions-update-tool		
:\Users\Administrator\Desktop\Update\fspm-definitions-update-tool>fspm-definitions-update-tool.bat Dicy Managen Definitions Update Tool		
maning sum respectively constructions are constructed as a sum of the support of the sum of the support of the sum of the support of the supp		
hydra-macco is successfully updated to version "171254024" swup-win' is successfully updated to version "171254024" lupdater-win2" is successfully updated to version "169940708"		
Jingo anisz is successfully upoated to version " <i>Leoysise</i> " sinded-extificates-win" is successfully updated to version "1683528444" iifcore-win64" is successfully updated to version "1718779863"		



#### バージョンアップ前の準備

 Policy Managerのアップグレード前に、H2DB、鍵ファイルを保存して ください。バージョンアップが正常に行えた場合これらを使うことはあ りませんが、万が一の保険としてリカバリに使えます。





secure

#### バージョンアップの手順

- 1. Policy Manager Server  $\delta Ver16 \sim \mathcal{P} \vee \mathcal{P} / \mathcal{P}$
- 2. Policy Manager ConsoleをVer16へアップグレード
- 3. Policy Manager ProxyをVer16へアップグレード(利用している場合)
- 4. 各端末(Client Security/Server Security etc)をVer16へアップグレード
- 5. Windows Client Security/Server SecurityにHotfixを適用

【製品のダウンロードURL】

**Policy Manager** 

https://www.withsecure.com/jp-ja/support/product-support/business-suite/policy-manager

**Client Security** 

https://www.withsecure.com/jp-ja/support/product-support/business-suite/client-security

Server Security

https://www.withsecure.com/jp-ja/support/product-support/business-suite/server-security



#### Policy Managerの バージョンアップ



### **Policy Manager (Windows**版)のバー ジョンアップ手順

- 1. ダウンロードサイトからPolicy Manager 16.02 (msiファイル)をダウ ンロード。
- 2. Policy Manager Ver15.xxがインストールされたサーバ上でmsiファイル を実行。(インストールバーが表示されます。)
- 3. データベースのメンテナンスの画面が表示されるので、「メンテナン スを開始」をクリックし、完了したら「閉じる」をクリック。
- 4. インストールのバーが進みアップデートが完了します。
- 5. 同サーバにインストールされているPolicy Manager Server及びPolicy Manager ConsoleがVer16.02にアップグレードされます。





#### **Policy Manager Console(Windows**版)の みのバージョンアップ手順

**Policy Manager Server**とPolicy Manager Consoleが別環境にインストール され、Policy Manager ConsoleのみをVer16へアップグレードする場合は下 記の手順で実行します。

- 1. ダウンロードURLからmsiファイルをダウンロード
- 2. Policy Manager Console Ver15.xxがインストールされたサーバ上で 「NOSERVER=true」オプションを付与してコマンドを実行

[コマンド実行例]

msiexec.exe /i C:\temp\wspm-windows-msi-16.02.98349.msi NOSERVER=true

※上記コマンドはwspm-windows-msi-16.02.98349.msi がC:\temp\配下に 配置されている場合のコマンド例です。

※参考情報

https://community.withsecure.com/ja/kb/articles/31225-policy-manager-コ ンソール-16-00-のみをインストールする方法



secure

#### **Policy Manager**(Linux版)のバージョン アップ手順 File Edit View Search Terminal Help ABRT has detected 1 problem(s). For more info run: abrt-cli list --since 1684909786

[root@ip-192-168-49-20 ~]# cd /root/Desktop/Software/WithSecure/

\* Run /opt/f-secure/fspms/bin/fspms-db-maintenance-tool before

Stopping fspms (via systemctl): [ OK ]

Preparing...

Preparing...

Updating / installing...

\* starting the server.

Cleaning up / removing...

Updating / installing...

[root@ip-192-168-49-20 WithSecure]#

[root@ip-192-168-49-20 WithSecure]# rpm -Uvh wspms-16.02.98349-1.x86 64.rpm

\* WithSecure™ Policy Manager Server has been successfully upgraded to 16.02.98349.

\* WithSecure<sup>™</sup> Policy Manager Console has been successfully upgraded to 16.02.98349.

[root@ip-192-168-49-20 WithSecure]# rpm -Uvh wspmc-16.02.98349-1.x86 64.rpm

- 1. ダウンロードサイトからPolicy Manager Console 16.02及びPolicy Manager Server 16.02をダウンロード。
- 2. Policy Manager Ver15.xxがインストールされたサーバ上で上記インス トーラを使ってPolicy Manager Console 及びPolicy Manager Serverを アップグレード。
- 3. PMSをアップグレード後、データベースメンテナンスツールを実行。
- 4. fspmsサービスを起動。

https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/policymanager/16.00/ja/task\_E02887FA732B4D9686C82ADE63844464-16.00-ja

#### Cleaning up / removing... [root@ip-192-168-49-20 WithSecure]# [root@ip-192-168-49-20 WithSecure # /opt/f-secure/fspms/bin/fspms-db-maintenance-tool Starting database maintenance Total maintenance time: 7 seconds [root@ip-192-168-49-20 WithSecure]# /etc/init.d/fspms status Database maintenance WithSecure<sup>™</sup> Policy Manager Server is stopped. This tool optimizes your Policy Manager database. In addition to checking the integrity of the database, it also minimizes the size of the database. The tool creates a backup of the current database before [root@ip-192-168-49-20 WithSecure]# also minimizes the si making any changes. [root@ip-192-168-49-20 WithSecure # /etc/init.d/fspms start Depending on the size of your database, the entire maintenance process may take quite a long tim Starting fspms (via systemctl): [root@ip-192-168-49-20 WithSecure]# Backing up database Show detail Verifying database integrity Upgrading database schema



#### Windowsクライアント のバージョンアップ



# **Policy Manager**での準備

 Policy Manager Consoleのポリシー内でルートドメインにて「ポリシー マネージャサーバのアドレス」指定が必須となります。

https://www.withsecure.com/content/dam/with-secure/ja/supportnews/support-news/2023/20231012-BusinessSuite16Knowledge.pdf



W/TH

 $\sim$ 

secure

**W**/ Client Security<sup>™</sup> | PREMIUM

ポリシー マネージャ サーバのアドレス:

HTTP ボート

ポリシー マネージャとの通信を設定する

ページで、環境に応じて接続ホストを識別する方法を選択できます。

ルートドメインの集中管理設定で、ポリシーマネージャーサーバーのアドレスとHTTP/HTTPSポートを指定します。この

インストーラーの作成

- 1. Client Security(CS), Server Security(SS), CS/SS のhotfixのjarファイルを入手。
- Policy Manager Consoleのツールメニューから 「インストールパッケジ…」を選択しCS jarファ イル、SS jarファイルをインポート。
- 3. インポートしたファイルを選択しエクスポート。
- 4. リモートインストールウィザードが起動するの でガイドに従って進めるとインストーラが作成 されます。



※Linux版Policy Manager Consoleを利用している場合は下記を参照してください。

<u>Linux 用ポリシーマネージャーで MSI インストール</u> パッケージを準備する方法 | Policy Manager | 16.02 | <u>WithSecure User Guides</u>

※CS for Mac版についてもWindows版と同様の手順でインストーラを作成してください。



ポリシーベースインストール

- ポリシーベースインストールを利用することで、Policy Managerから遠隔で複数のWindowsクライアントに対してバージョンアップの指示をかけることが可能です。
- CS/SSのホットフィックスについてもポリシーベースインストールで適用することが可能です。
- ポリシーベースインストールはClient Security/Server Security (Windowsクライアント製品)のみ対応しております。

#### ポリシーベースインストールの手順

- 1. Policy Manager Consoleのインストールタブから 「インストール」を選択。
- 2. インストールパッケージ画面が起動するので、CS jarファイル、SS jarファイルをインポート。
- 3. インポートしたjarファイルを選択して「OK」を クリック。
- 4. リモートインストールウィザードが起動するので ガイドに従って進めます。
- 5. 完了すると、ポリシーベースインストール画面に ポリシーが作成されます。
- 6. ポリシーを配布を実行すると、対象端末でポリ シーを取得次第バージョンアップを開始します。



ポリシーベースインストールの注意点

- 対象ホストがポリシーを受信できない(電源OFF、ネットワークに接続していない)場合は更新は実行されません。本ポリシーを受信した段階で更新を実行します。
- 何等かの理由でアップデートが失敗した場合、アップデートの再実行は 行われません。アップデートの再実行には、新しいポリシーを配布する 必要があります。

https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/policymanager/16.00/ja/task\_59E41CAA430547F69C8241F89838425E-16.00-ja

#### Linux 製品への 影響



## LS64/Atlantへの影響

- Linux Security 64/Atlantについては、基本的には製品コンポーネントの バージョンは自動更新されるため対応は不要です。
- Pinnable Product Version (linuxsecurity-2022\_5/atlant-2023\_1) を利用 している場合、2024年10月1日以降、パターンファイル更新及びクラウ ド検索の機能が利用できなくなる可能性があります。

(接続先バックエンド変更による影響)

- 最新のjarファイルを使ってインストーラを作成する前に、Policy Manager Consoleのポリシー内でルートドメインにて「ポリシーマネー ジャサーバのアドレス」指定が」必須となります。
- 新規インストールを行う場合は、最新のインストーラを利用してください。2024年10月1日以降、以前作成した古いインストーラを使ってインストールを行うと、インストールが失敗する可能性があります。)

(接続先バックエンド変更による影響)



# WORLD THE SECURE

最後に

✓ V15利用のお客様は、EOLである2024/9月末までに

最新V16へのマイグレーション作業をお願いします

- ✓ 又は、各製品のElements 製品(クラウド版)への移行をご検討下さい
- ✓ 技術的なご質問は弊社サポートセンターへ

✓ クラウド版への移行やその他ご相談は各営業へご連絡下さい

✓本日のWebinar資料、録音データ、QA等は後日メールにて配布予定

✓本日はありがとうございました!

